

報告書刊行・編集作業を通して

報告書・雑誌編集委員会

JYPO の活動啓発を担っています。

JYPO では、メインイベントである [Course for Academic Development of Psychiatrists \(CADP\)](#) の開催・運営をはじめ、日本精神神経学会等でのシンポジウム開催、PANSS (統合失調症の評価スケール) の翻訳事業、共同研究の推進、国際交流の促進など、各方面で精力的に活動しています。当委員会の活動目的は、JYPO 内の担当委員会で分担・開催しているこれらの活動の足跡を文書で記録・頒布し、JYPO の活動内容をより多くの方に知っていただくことです。

●CADP 報告書: 毎年 6 月に発行し、各大学の精神医学講座ならびに国立病院機構等の精神科医局へ送付しております。日本精神神経学会学術総会等で頒布の機会をいただいているほか、ホームページでの公開も準備中です。

●医学雑誌への連載記事、書籍

- ・「学会発表の仕方」(精神科治療学 第 28 巻 01 号～12 号)
 - ・「現代精神医学の視点・論点」(臨床精神医学 第 44 巻第 4 号～45 巻 6 号)
 - ・「[ぼくらのアルコール診療](#)」(南山堂、2015、日本プライマリ・ケア連合学会と共同作成)
- いずれも当会若手会員らの思考や経験の粋を集めたものとなっておりますので、ぜひご一読ください。

こうした報告書・書籍・連載が、JYPO の認知度向上にとどまらず、偏見・差別のない精神医療の実現への一助となればと考えています。より多くの方々に活動を知ってもらおうべく、紙媒体以外の利用も検討していきたいなあ、と今後の構想へ夢を膨らませているところです。

そのような私達の活動を今後も継続すべく、当委員会でも新たな仲間を募集しています。これまでの経験の有無は問いません。求めるものは、あなたのその熱意と興味！(ほんのちょっぴり強迫的であれば尚良いです！)。活動に興味がある方・お尋ねになりたいことがある方は、大矢 (n-oya@koto.kpu-m.ac.jp) までお気軽にご連絡ください。



大矢 希 (委員長、京都府立医科大学精神医学教室)
長 徹二 (三重県立こころの医療センター)
堀之内 徹 (北海道大学精神医学教室)
佐藤 明 (京都大学大学院)
濱本 妙子 (三重県立こころの医療センター)